

Course Title 科目名	[Special Topic] Cultural Sociology B 【特殊講義】文化社会学B			Instructor 担当者	ITO, Miku 伊東 未来		
Semester 学期	Fall 2022	Language of Instruction 使用言語	JAP 日	Credits 単位	2	hrs/wks 時間数/週	2

【Course Objectives: 授業の到達目標】

現代の諸問題を再考することを目標とする。

【Course Summary: 授業の概要】

この講義ではまず、人間の文化や社会に関して文化人類学が取り扱ってきたテーマの基礎的・古典的研究を学ぶ。そのうえで、これらのテーマを通じて現代の諸問題を再考することを目標とする。

【Study Required outside Class (Preparation etc): 事前・事後学習】

講義では時事的なトピックも取り上げる。日頃から新聞やテレビ、ネットなどの情報を意識的に見聞きして、授業で取り上げた内容を自分の問題関心と結び付けて考えておくこと。また、次回の内容に関する簡単な課題を出し、授業でディスカッションすることもある。

【Class Outline: 授業計画(各回の授業内容)】

Session 1	ガイダンスー授業の進め方の議論と合意 Guidance
Session 2	人類学はどう変化してきたかー未開と文明を超えて History of Anthropology - Beyond the Sauvage/Civilisé Dichotomy
Session 3	ヤノマミから考える「社会」1 Rethink Society through Yanomami I
Session 4	ヤノマミから考える「社会」2 Rethink Society through Yanomami II
Session 5	ブリコラージュと野生の思考 Bricolage and <i>La Pensée sauvage</i>
Session 6	表象のポリティクスとテクニク1 Politics and Technique of Representaion I
Session 7	表象のポリティクスとテクニク2 Politics and Technique of Representaion II
Session 8	文化と誇り・尊厳 Dignity and Culture
Session 9	文化財ー本を焼く者はいずれ人間も焼くようになる Cultural HeritageI - <i>Those who burn books will in the end burn people.</i>
Session 10	社会と記憶・歴史 Society and Memories/Histories
Session 11	文化財2ー私達は忘れない、私達は忘れない Cultural Heritage II - Inheriting Collective Memory
Session 12	社会問題は本当に問題か When the Social Problem become a <i>problem</i>
Session 13	社会と正義 Society and Justice
Session 14	総合ディスカッション Discussion

【Required Textbooks and Course Materials: 教科書(購入必須)】

特になし

【Recommended Textbooks and Course Materials: 参考図書】

クロード・レヴィ=ストロース『野生の思考』みすず書房、1976
 森達也『それでもドキュメンタリーは嘘をつく』角川文庫、2008
 山下晋司編『公共人類学』東京大学出版会、2014
 デビッド・グレーバー『ブルシット・ジョブークソどうでもいい仕事の理論』岩波書店、2020 など
 その他、各回の内容について理解を深める助けとなる参考書籍・論文・新聞記事・映画などの情報を講義中に適宜示す。

【Grading Criteria: 成績評価の方法】

平常点(50%)、レポート(50%)にもとづいて総合的に評価する。

【Note: 履修上の注意】

授業は日本語でおこなう。履修者はN2以上の日本語レベルを有する必要がある。